

アルミニウム建築構造設計 疲労設計規準（案）・設計例

公開説明会 開催案内

アルミニウム建築構造協議会では建築構造物にアルミを使用する部材及び接合部の繰返し応力に対する疲労設計規準案を作成しました。作成にあたっては諸外国を含め、現在使用されている多くの規準類を収集し、比較検討し取りまとめる手法を採用しました。

本規準は将来的にはアルミニウム建築構造設計規準・同解説への移行を考えていますが、その前に多くの方々に使用してもらい、ご意見を頂くことでより使い易いものにしたいことから、この度、説明会を開催することとしました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【開催概要】

開催日時：令和1年7月22日（月）13：30～

会場：（一社）日本アルミニウム協会 第一会議室

東京都中央区銀座4丁目2番15号 塚本素山ビル7階

主催：アルミニウム建築構造協議会

プログラム1（13：30～14：10）

信州大学名誉教授

中込 忠男氏

繰返し応力を受ける部材及び接合部の疲労設計(案)

プログラム2（14：10～14：50）

(株)住軽日軽エンジニアリング

渡辺 和志氏

設計例1～単純梁中央部の溶接接手部の疲労設計

（休憩）10分

プログラム3（15：00～15：40）

飯島建築事務所(株)

池田 光太郎氏

設計例2～照査期間内に作用する暴風による建物の鉛直ブレースの疲労設計

プログラム4（15：40～16：20）

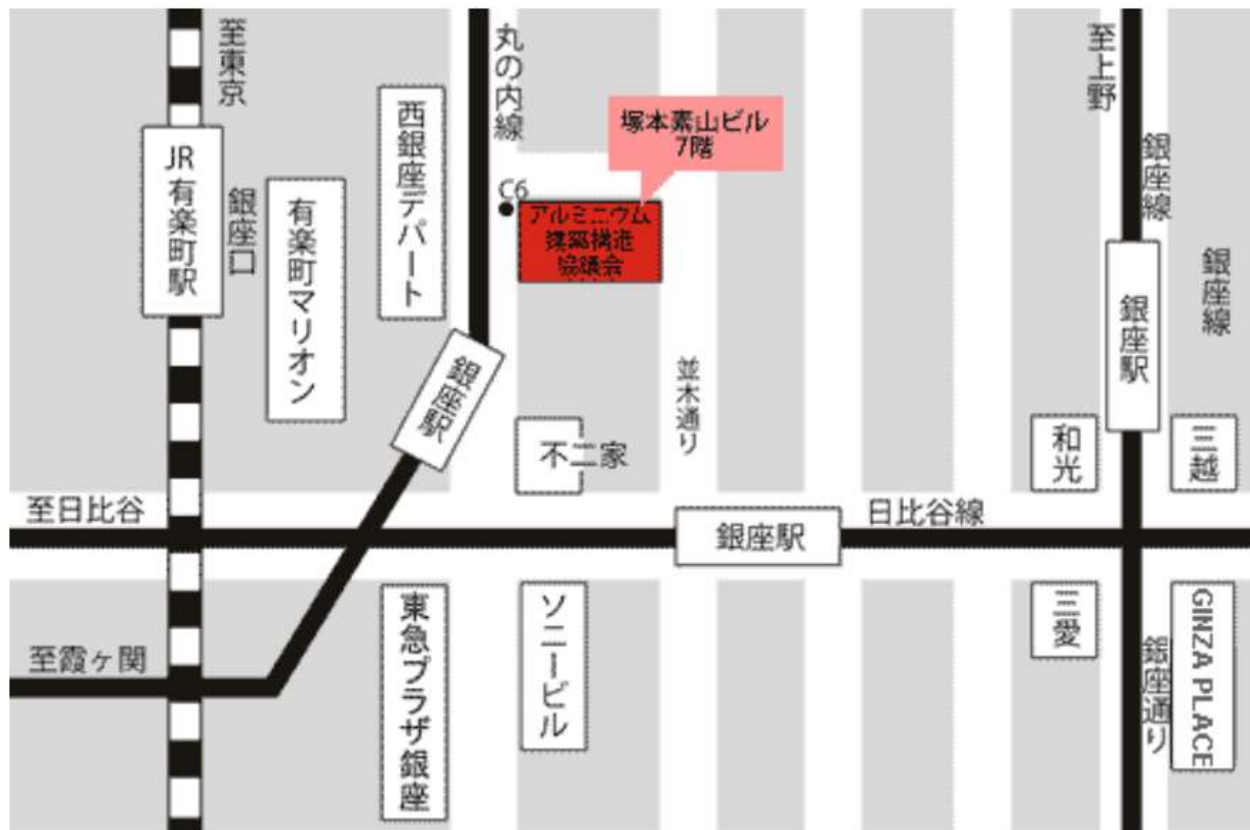
(株)泉創建エンジニアリング

安井 八紀氏

設計例3～バス停の疲労設計

（質疑応答）（16：20～16：40）

案内図



住所

東京都中央区銀座4丁目2番15号塚本素山(そざん)ビル7階